

## 前澤友作氏から古河市へのふるさと納税について

1. 寄附者 まえ ざわ ゆう さく  
前澤 友作 氏

2. 寄附額 500万円（令和2年納税）

### 3. 経緯

- ・令和2年11月19日、前澤氏が自身のツイッター上で、今年度納付予定のふるさと納税約8億円（返礼品は辞退）の寄附先を探し、自治体からアイデアを募集
- ・11月28日、古河市が応募（4つのアイデアを提示）
- ・12月21日、前澤氏が自身のツイッター上で、応募のあった150の自治体すべてに500万円ずつ寄附することを発表  
（同日、前澤氏の事務所から古河市に連絡が入り、手続きを開始するとともに、針谷市長から前澤氏に感謝の意をツイート）
- ・12月25日、前澤氏から古河市にふるさと納税500万円が振り込まれる。  
（12月29日、古河市から前澤氏に寄附金受納証明書を送付）

### 4. 市から提示したアイデア ※ 別紙参照

古河市の強みである歴史や文化、豊かな自然を生かしたまちづくりを念頭に、以下の4つの事業を提案

- ① サッカーを中心としたスポーツ広場の整備 （サッカーのまち古河の復活）
- ② はなもものしずくの生産体制強化と販路拡大 （ハナモモを看板にした観光振興）
- ③ 篆刻スターターセットの生産・販売 （篆刻を後世に残していく取組）
- ④ 古河ゴルフリンクスのリノベーション （クラブハウスの複合活用）

### 5. 寄附金の使途

現在、上記提案事業に関連した使途を検討中